

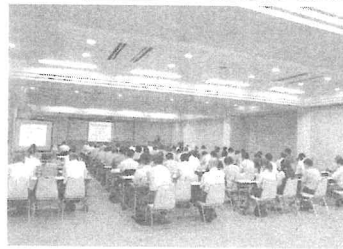
広ト協 労務研修会

SAS対策の講演も

【広島】広ト協は8月22日、労務問題研究会を県トラック総合会館で開催。今回は健康起因事故防止がテーマ。全ト協主催で、全国各地で実施する「運輸ヘルスケアナビシステム」同講演は中国地方で

は2例目。

喜多村久至副会長のあいさつに続き、NPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHIS)のスタッフを講師に招いて講演。保健師の黒田悦子氏は、健康起因事故の防止を目的に運輸業に特化、構築した同システムの活用を具体的な事例を交えて紹介した。また、作本貞子副



理事長はSAS対策のスタートと運用について解説。「SASは本人の自覚症状ではわからない。スクリーニング検査では、約4割にSAS

の疑いがあるとして要精密検査の対象になる」とし、各検査の実際や治療方法などを説明。このなかで、各県ト協が設けているスクリーニング検査の助成金も紹介された。また「運輸事業者はSAS検査が必須。必ず全員に医師判定のある検査を受けさせる。治療が必要になった場合は速

やかに開始し、継続することが重要」と受講者に呼びかけた。(伊藤由貴)